

私立大学戦略的研究基盤支援事業

「近代日本の人文学と東アジア文化圏

－東アジアにおける人文学の危機と再生－」主催

## ワークショップ「朝河貫一の教育活動」

イエール大学教授であった朝河貫一は日欧にわたる中世史研究者として著名であるが、同時に教育者として優れた人材を育てている。従来、イエール大学において何を教え、それが当時の学生にどのように受け止められていたか、その詳細は明らかにされていなかった。今回、イエール大学に残された資料から見えてくるものを検討する。

- ・日時: 2017年7月15日(土)13時より17時まで
- ・会場: 早稲田大学戸山キャンパス第7会議室(39号館6階)
- ・主催: 総合人文科学研究センター

司会 【13時00分～13時10分】

海老澤 衷(早稲田大学文学学術院教授)

報告1 【13時10分～14時10分】

中村 治子(イエール大学東アジア図書館日本研究専門司書)

「朝河貫一の講義科目の分析とイエール大学」

内容: イエール大学の授業リストから朝河の38年間の講義一覧を抜き出し、当時のイエール大学で行われていた他の授業と比較することにより、20世紀前半のイエール大学における朝河の授業の位置付けについて考察する。

報告2 【14時10分～15時10分】

甚野 尚志(早稲田大学文学学術院教授)

「朝河貫一の西洋中世史の研究と教育活動」

内容: Asakawa Papers に存在する膨大なフランク王国史の研究カード、カロリング期の立法に関する論文草稿、西洋中世史の受講生の答案や小論文の内容から、朝河が行った西洋中世史の研究と教育活動について明らかにする。

コメンテーター 【15時30分～16時30分】

増井由紀美(敬愛大学国際学部教授)

全体討論 【16時30分～17時00分】